高等学校部会　　授業研究会の記録

記録者　宮崎商業高等学校　志岐　信和

【授業者ふりかえり】

|  |  |
| --- | --- |
| 発　表　者 | 内　　　　　　　　容 |
| 宮崎南高校  池田先生 | 【１年　体つくり運動】   * 体ほぐしの運動のストレッチは、当初ペアストレッチを計画していたが、新しい生活様式の観点から、またリズムジャンプが運動量の多い内容なので、怪我予防のためにもストレッチは行った方がと本校独自で進めているストレッチを取り入た。この部分は体ほぐしの運動のねらいから考えると課題だと思う * 対話のなかから何が必要か考え、試行錯誤を重ねる姿が多く見られたので、より研究テーマに近づいた生徒の姿が見られたのが印象的だった。 * 本研究を終えて、今は他の領域に進んでいるが、対話の質が高まって主体的・対話的で深い学びに向かう力がついてきたことは成果として感じられる。 |

○　ディスカッション１

〈主体的・対話的で深い学びにつながる学習活動・単元計画になっていたか〉（１５分間）

|  |  |
| --- | --- |
| 1班  ・班別にテーマがしっかりと立てられているので、体力の向上に対するモチベーションが高い  ・タブレットを使用することで自分が調べてきたものに簡単に補足し保存することができる  ・タブレットを活用することで、家庭学習への応用、オンライン授業に繋がる | 2班  ・各班での報告をすることで進み具合の目安になり、ヒントにもなっている  ・話し合った動きをグループ全員で行い、合意形成を重ね納得いく形で終わることができていた  ・実践事例集（動画）を参考に作ったサーキットメニューで活発な意見交換が行われ、特に活動後の様子が活発だった |
| ３班  ・自分たちのグループだけでなく、他のグループとの意見交換をすることで話し合いが活発化する  ・運動計画を立てる際に、付箋を活用することで話し合いが活発に行われていた  ・年代別に運動内容を考えさせることで保健と繋がっていると感じた | ４班  ・リズムジャンプは手拍子やペアと音楽やリズムを意識させることで主体的な活動に繋がっていた  ・付箋に書き込むことで順番を入れ換えやすくまとめやすかったり、他の意見を忘れることなく整理したりすることで、話し合いが効率よく進んでいた |
| ５班  ・タブレットを活用することで会話に繋がり、常に振り返りができるようになっていた  ・各班５～６人にすることで役割が明確になり、各自がやるべきことを責任もってやっていた  ・テーマ設定⇒実践⇒評価までの流れでグループ活動することにより主体的な活動になっていた  ・教師側はアドバイス程度のため、生徒主導で授業を進めることができ、生徒たち自身が主体的な活動ができていることを実感しているように感じた | |

○　ディスカッション２

〈生徒の思考の流れを明確にし、深い学びにつながる学習カードになっていたか〉（１５分間）

|  |  |
| --- | --- |
| １班  ・自分の体力の優れているところ、弱いところ（改善点）をしっかりと理解し、計画を記入できることで自己分析が良くできている。  ・文字だけではなく絵なども入れて分かりやすい内容になっていた。  ・学習カードでねらいに対する共通理解が図られたあとに活動させ、最後に話し合い（ミーティング）が行われていたので非常に良かった。 | ２班  ・動きの説明を細かく書く欄が設けられている  ・学習したことや調べたことを1冊の冊子にまとまっているので振り返りやすい  ・なぜ運動しなくてはいけないのかを明確にし、メタボやロコモについても触れ、運動の重要性が明確になっている |
| ３班  ・多くの運動メニューを書くだけでなく、「課題」等もしっかりと記入できるようになっている  ・自分の現状把握をすることで課題設定や目標設定までの流れが丁寧で考えやすい  ・自己評価だけでなく、他者評価も工夫されている学習カードになっていた | ４班  ・前半５ページまで自分自身を見直す内容にすることで、主体性を引き出すことができている  ・データ、チェック、課題等がバランスよく含まれているので思考力を高められる内容になっていた |
| ５班  ・体育理論や保健で学んだ内容を体つくり運動に活かせる内容になっていた  ・自らの身体の動きに関する分析ができているので可視化しやすく目標を立てやすい | |